

プロミュージシャンから楽器演奏のコツを学ぶ参加者



楽器に触れて音楽をもっと身近に ジャズのプロ演奏家が音楽の魅力伝える

子どもたちに音楽を身近に感じてもらうと7月30日、市は市民文化会館で楽器体験ワークショップを開催しました。1回目となった今回、参加した小学生から高校生の10人が体験したのはジャズで使う楽器。はじめに、ギターとベース、ドラムのプロミュージシャン3人が音楽の道を志したきっかけなどを説明しました。その後、子どもたちはプロの指導を受けながら実際に楽器を演奏。演奏した児童は「初めて触る楽器ばかりで楽しかった」と目を輝かせていました。

このブドウは甘いかな？



あまーく育ったブドウを収穫 両開公民館がブドウ狩り体験を実施

両開公民館は8月9日、プレオープンした橋本町の観光ぶどう園で両開小学校の学童保育に通う児童を対象にしたブドウ狩り体験を実施しました。同園がある両開地区は土壌に塩分が多く、甘いブドウ（巨峰）が育つのが特徴です。当日は1年生から3年生までの19人が参加し、大きく育ったブドウを見極めながら、収穫体験に挑戦。参加した児童からは「初めてのブドウ狩りでした。家族でまた来たい」「ブドウが大好きなので食べるのが楽しみ」との感想が聞かれました。

子どもを大蛇の口に噛ませて無病息災を願う「かませ」



祭りの熱気で地域に活気を 3年ぶりに中島祇園祭開催

中島地区で7月23日、中島祇園祭が開催されました。180年ほど前から、無病息災や豊作豊漁を祈願するために始まった同祭り。3年ぶりの開催となった今年は、新型コロナの影響で4つある山車のうち、巡行したのは大蛇山だけでした。それでも地元の人が多く来場し、白い煙を上げながら火花を噴く大蛇山を見て大いに盛り上がっていました。訪れた人は「他の山車が見られなかったのは残念。来年はすべての山車が見られるようになってほしい」と願っていました。

まっすぐ進もうと奮闘する小学生



その手で水をかき分けて 小学生を対象としたカヌー教室を開催

大和B&G海洋センターの艇庫で7月26日、カヌー教室が開催されました。城内公民館と城内校区民会議が共催したこのイベントには城内小の4年生から6年生計10人が参加。始めにカヌーの基本的なこぎ方の説明を受け、その後は自由に水面をこいだり、投げられたボールを早く拾うレースをしたりと大いに盛り上がっていました。参加した児童は「すぐに曲がってしまい、まっすぐ進むだけでも難しかった」「初めての経験でとても楽しかった」と感想を語ってくれました。



どんこ舟の上から生き物を捕まえようとする小学生



下船した後は捕まえた生き物について振り返った

伝統建築と芸術が調和し、趣のある空間に包まれた



古民家とアートがつくる空間 旧綿貫家住宅でアートイベント

7月21日から31日にかけて五拾町の武家屋敷、旧綿貫家住宅でアートイベントが開催されました。このイベントは古民家活用などの活動をしている柳川暮らしつぐ会が主催。市出身でスイス在住のアーティスト市野多見さんと夫で写真家のトマ・メゾンナスさんによる絵画、写真など34点が展示され、期間中に約200人が訪れました。市内から訪れた女性は、「古民家と作品が融合していて、引き立てあっていた。日頃、見過ごしていた景色も写真で見ると新鮮でした」と話しました。

どの色で布を染めようか考える参加者たち



世界でひとつだけの手ぬぐいを 天然染料を使った布染めを体験

眞勝寺で7月30日、アートひろばやながわ主催の天然染料を使った布染め体験が開催されました。これは市が協働して、子どもたちが自由に自分を表現できる場を作ろうという市民協働の一環。当日は午前の部と午後の部合わせて15組の親子が参加しました。講師の彌永裕子さんによる指導の下、参加者は自由に布をべんがらで染色。参加した小学生は「染料の付け方や布の折り方で模様が変わるのが面白かった」と出来上がった手ぬぐいを見せながら話してくれました。



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎77・8425

川の生き物を一番近くで 3年ぶりに二ツ川ウォッチング開催

二ツ川で8月2日、二ツ川ウォッチングが開催されました。当日は市内の小学5、6年生14人が参加。3艘に分かれてどんこ舟に乗船し、二ツ川水門付近から、高畑公園まで舟で移動しながら、川の中に生息する生き物を捕まえていきました。きれいな川の中を動き回る生き物の姿に小学生は大興奮。みんな積極的に手網で魚やエビをすくっていました。参加した小学生は「たくさん生き物を捕まえて楽しかった」「初めて見た生き物がいた」と捕まえたタナゴやヌマエビを自慢しながら教えてくれました。